

科目名	社会保障論			ナンバリング	SOC361	授業形態	講義
対象学年	3年	開講時期	後期	科目分類	選択	単位数	2単位
代表教員	鎌田真理子	担当教員					

授業の概要	<p>社会保障制度は国民の日常生活のリスクに対応し、どのように私たちの生活を支援・救済をしているのか、その存在意義を理解することから開始したい。そこで、本講義では、社会保障制度に関する基礎的な知識や視点を考察し、現代の資本主義社会及び民主主義社会にとってなくてはならない社会保障の理論の修得を目的とする。</p> <p>具体的には、我が国の5つの社会保障制度である社会的扶助、労働災害補償、雇用保険、医療保険、年金制度や最後に開始された第6番目の社会保障制度の介護保険制度や、各種の社会福制度、補完的な民間保険などについて基礎知識を修得し、日常生活における活用能力を身につける。</p>
到達目標	<p>1. 社会保険制度に関する様々な理論と現代社会における課題について、分析、整理する。</p> <p>2. 我が国の社会保障制度に興味関心を示し、現行制度について分析、整理することができる。</p> <p>3. 我が国の社会保険制度について、様々な生活課題の解決に向けて活用することができる。</p>
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な予備知識など)	<p>テキストや資料、パワーポイント、板書により進める。</p> <p>このため、必要に応じて資料や課題を事前に提供するため、目を通しておくこと。授業で得た知識を、自己の言葉で説明できるようになることをめざし学習する。</p>
ディプロマポリシーとの 関連	【教養学部 地域教養学科のディプロマポリシー】
	○ 1. 専攻分野それぞれの基礎的な知識を確実に身につけ、それらを活用して基本的な問題を解決することができる。
	○ 2. 専攻分野それぞれの基本的スキルを、地域社会に貢献するために活用することができる。
	3. 自分の意見や考えを説明し、他者と協調して積極的にコミュニケーションをとることができる。
	○ 4. 広い視野と論理的・批判的思考力を身につけ、困難な課題や予測不能な事態に直面しても適切に対処することができる。
	5. 社会の一員としての自覚を持ち、社会生活の場において、地域を支える社会人・職業人としてふさわし関心・意欲・態度を示すことができる。

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
<p>1. 現代社会における社会保障の必要性について説明できる。</p> <p>2. わが国の年金制度の仕組みについて説明できる。</p> <p>3. わが国の医療保険制度について説明できる。</p> <p>4. わが国の労働災害保険・雇用保険について説明できる。</p> <p>5. 公的扶助、介護保険について説明できる。</p>	<p>1. 社会保障の理念と発達について、資本主義の発達と民主主義の理念を踏まえて、現代社会における必要性・重要性について説明できる。</p> <p>2. 我が国の年金制度について2階建て制度の特徴と、給付の種類について説明できる。</p> <p>3. 医療保険制度についての職域型・地域型の特徴と給付内容を説明できる。</p> <p>4. 労災保険についてその誕生に影響した社会情勢や制度の有効性について説明できる。</p> <p>5. 公的扶助、介護保険制度の誕生の社会状況と現在の水準と内容および課題について概説できる。</p>

評価方法	成績評価観点						評価割合
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	
定期試験(中間・期末試験)							
小テスト・授業内レポート	○		○				30%
宿題・授業外レポート	○	○					50%
授業態度・授業への参加			○	○			20%
出席			○	○			欠席は減点

課題、評価のフィードバック	<p>1. リアクション・ペーパーの質問には次回講義の冒頭でコメントをする。</p> <p>2. 講義に関する質問や相談は随時受け付ける。</p> <p>3. 成績や課題評価の開示は受講生本人の希望がある場合に応ずる。</p>
---------------	---

	回次	テーマ	授業内容	備考
授業計画	第1回	ガイダンス説明 社会保障制度、社会福祉、ソーシャルワーク等の概要	本事業の位置づけを確認する。さらに、社会保障・社会福祉・ソーシャルワークの基本的な枠組み概要と対象違いなどを概説する。	
	第2回	社会保障とは何か	社会保障の概念と範囲、社会保障制度の形成とその重要性及び展開について概説する。	
	第3回	社会保障の形成と展開	わが国と欧米における社会保障制度の形成とその重要性及び展開について概説する。	
	第4回	社会保障制度の体系	社会保障の体系について、その給付構造と展開、財源構成について説明する。	
	第5回	年金保険制度の現状と課題 ①国民皆年金	わが国における公的年金制度の仕組み及び皆年金制度の展開について説明する。	
	第6回	年金保険制度の現状と課題 ②国民年金と厚生年金	わが国の二階建て年金制度の特徴を説明し、国民年金と厚生年金制度を概説する。	
	第7回	医療保険制度現状と課題 ①皆保険制度	わが国における医療保険制度の仕組みおよび皆保険制度の展開について説明する。	
	第8回	医療保険制度現状と課題 ②健康保険と国民健康保険制度	被用者保険制度である健康保険制度と、地域の国民健康保険制度や広域連合による後期高齢者医療保険制度について概説する。	
	第9回	介護保険制度の現状と課題	わが国の介護保険制度創設の背景と現状、給付の仕組みについて解説する。	
	第10回	雇用保険制度の現状と課題	わが国の雇用保険制度の誕生から現行制度の内容、給付の仕組みについて概説する。	
	第11回	労働災害補償保険制度の現状と課題	わが国の労働災害補償制度の内容と労災認定の仕組みについて解説する。	
	第12回	社会扶助の現状と課題	わが国の社会的扶助制度である公的扶助や社会手当制度について説明する。	
	第13回	社会保険と民間保険の現状と課題	わが国の民間保険制度と社会保険制度との関連性について説明する。	
	第14回	現代社会における社会保障制度の実施体制の課題	わが国の社会保険制度の運営管理及び実施体制、国際化に伴う影響などについて説明する。	
	第15回	振り返りとまとめ	これまでの授業内容を総括し、わが国の社会保険制度の将来展望について解説する。	
	試験	試験は実施せず、レポートとする。		
授業の進め方	テキストを使用し、パワーポイント、板書、資料での開設などで進めていくが、2,3度の小テストまたはレポートの提出。			
授業外学習の指示	指定のテキストや資料を事前に目を通し、授業後はテキストや資料を復習する。  (授業外学習時間: 毎週 90 分)			

教科書	福祉臨床シリーズ編集委員会編 『社会福祉士シリーズ12. 社会保障論 (第5版)』 弘文堂、2017年、(定価 2500円+税)
参考書	中央法規編 『社会保障の手引 施策の概要と基礎資料(平成30年度版)』 中央法規出版 2018年 (定価 3024円)
参考URLなど	厚生労働省ホームページ
その他	